

香川県高齢協グループ機関紙

2025年 第235号 (9・10月号)

香川県高齢者生活協同組合/社会福祉法人ひだまり福祉会/一般社団法人香川県高齢者支援協会

# ひだまり



ひだまり生協

香川県高齢者生活協同組合



〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

TEL 087-899-6311

<http://www.kagawa-koureikyoku.org>

FAX 087-899-6312

(組織状況)●組合員数 2,636 名 ●出資金額 17,754,000 円(2025 年 7 月末現在)



またアンコールでは都はるみさんの「好きになった人」を披露。一番はボーカルが唄い、2番と3番は利用者がマイクで熱唱するなど、カラオケとは違う生演奏の迫力を存分に楽しみました。

「好きになった人」を披露。一番はボーカルが唄い、2番と3番は利用者がマイクで熱唱するなど、カラオケとは違う生演奏の迫力を存分に楽しみました。

出演は香川県高齢者支援協会自転車委員会の森澤良一さん(4 頁参照)が主宰する十河軽音楽クラブ。「東京ブギウギ」「昴」といったヒット曲に加え、「北国の春」や「北酒場」などの演歌メドレー、さらには石原裕次郎メドレーなどを繰り広げ、タンバリンやマラカスでリズムをとったり、体を揺らして生の音楽を堪能する姿が見られました。

出演は香川県高齢者支援協会自転車委員会の森澤良一さん(4 頁参照)が主宰する十河軽音楽クラブ。「東京ブギウギ」「昴」といったヒット曲に加え、「北国の春」や「北酒場」などの演歌メドレー、さらには石原裕次郎メドレーなどを繰り広げ、タンバリンやマラカスでリズムをとったり、体を揺らして生の音楽を堪能する姿が見られました。

出演は香川県高齢者支援協会自転車委員会の森澤良一さん(4 頁参照)が主宰する十河軽音楽クラブ。「東京ブギウギ」「昴」といったヒット曲に加え、「北国の春」や「北酒場」などの演歌メドレー、さらには石原裕次郎メドレーなどを繰り広げ、タンバリンやマラカスでリズムをとったり、体を揺らして生の音楽を堪能する姿が見られました。

出演は香川県高齢者支援協会自転車委員会の森澤良一さん(4 頁参照)が主宰する十河軽音楽クラブ。「東京ブギウギ」「昴」といったヒット曲に加え、「北国の春」や「北酒場」などの演歌メドレー、さらには石原裕次郎メドレーなどを繰り広げ、タンバリンやマラカスでリズムをとったり、体を揺らして生の音楽を堪能する姿が見られました。

ひだまりコンサート



## 訪問介護事業所ひだまりステーション

香川県高松市香川町川東下 1190-1

☎087-899-6314

利用者さんと登録ヘルパーさん募集中!

いつもの生活を送るお手伝いをしています







## 香川ひだまり

7月26日の川東花火2025に向けて、香川ひだまりでは天井飾りを利用者の皆さんと作成しました。



金魚すくいとのことで、青い平巻ビニールテープを使用して水をイメージし、金魚を一枚ずつ切って作りました。皆さん器用にビニールテープを貼ったり割いたりしながら、豪華な飾りが出来上がりました(8頁参照)。

完成した作品は、お祭り当日までディスプレイサービスにて展示し、天井飾りを見

て「綺麗に出来てるね」とか「涼しく感じるなあ」と、皆さんに喜んで頂けていました。



## ひだまり川島

6月17日、当施設で最高齢のご利用者様(98歳)のお誕生日会を開催いたしました。

職員手作りの「プリンアラモード」

でお祝いをし、「これはどこで買うてきたんだ」「これはおいしい」「また頼むで」と、満面の笑顔で召し上がる姿が印象的で、心温まるひとときとなりました。



また、6月27日には庭先農園で育てたトウモロコシの収穫祭を行いました。今年初めての取り組みとして、七輪で香ばしく焼き上げたトウモロコシを皆様にご提供。



「たれの焦げるええ匂いや」「言葉にならんうまさやな」とのお声もいただき、大変ご好評をいただきました。来年も引き続き栽培を予定しております。

7月7日の七夕には、ご利用者様それぞれが短冊に願い事を記されました。「いつまでも幸せに暮らしたい」「ひだまりですっとお世話になります」「ひだまりですっとお世話になります」など、当施設を「住処」として信頼くださっているお言葉に、職員一同、深く胸を打たれました。

今後、ご利用者様の毎日が豊かで穏やかなものとなるよう、心を込めて支援してまいります。

利用者様

募集中!

デイサービス

香川ひだまり

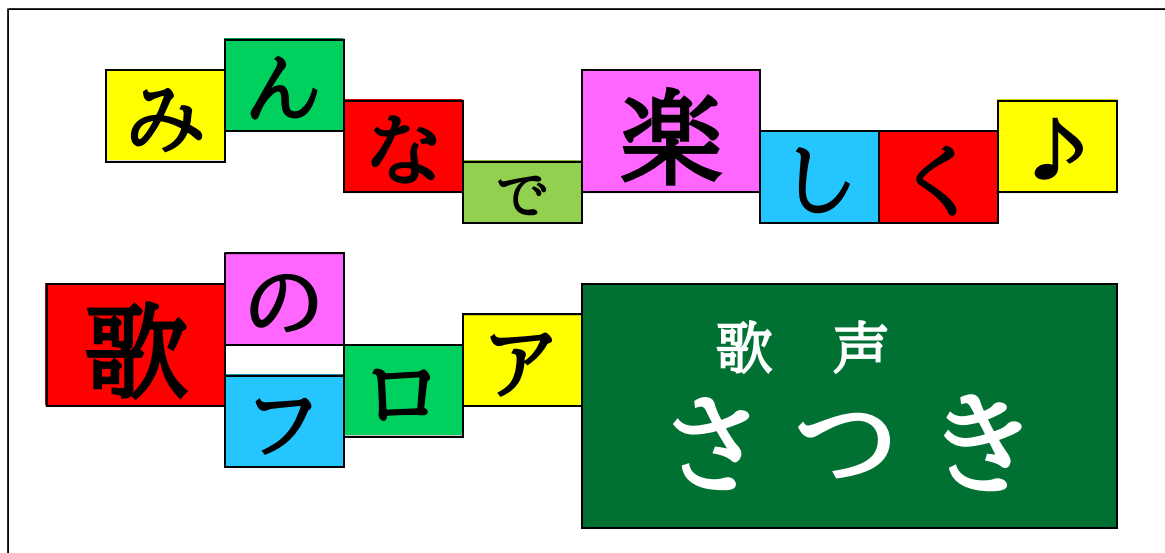
見学・体験 大歓迎 です!

手作りの昼食無料提供いたします

〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

月～土曜日 10:00～15:30 TEL 087-889-5011





- ☆ 青春の「ひとこま」の思い出曲をみんなで声をそろえて唄おう！  
なつかしの歌謡曲・フォークソング・ロシア民謡・叙情歌・童謡・唱歌
- ☆ ピアノ伴奏で声出し、体動かし・・・心も体も若返りましょう♪♪
- ☆ 楽しいひとときを「なかま」と一緒に「うたごえ」の輪をひろげよう！
- ☆ お友達、お知り合いお誘い合わせ・・・ご夫婦、おひとりさま大歓迎

**体験参加大歓迎**

宇多津町保健センター 四階 会議室

開催日	10月 9日(第二木曜日)	10月23日(第四木曜日)
	11月 6日(第一木曜日)	11月27日(第四木曜日)
	12月25日(第四木曜日)	12月11日(木)は親睦会につき下記へ

時 間	午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 3 時 3 0 分
-----	-----------------------------

イベント	歌声「さつき」発表会 11月9日(日) ユープラザうたづ
	歌声「さつき」親睦会 12月11日(木) アネシス瀬戸大橋

会 費                      **ワンコイン (1回 500円)**

入 会 金                1, 0 0 0 円(年・月会費不要)

主 催                      歌 声 「 さ つ き 」

高齢者生活協同組合 西讃地域センター

指 導                      由 佐 洋 子 先 生

**みんなで楽しく歌おう**

体験参加を希望する方は開催日に会場へお越しいただくか  
歌声「さつき」の奥山迄連絡ください。

携帯電話                0 9 0 - 2 8 2 5 - 8 8 4 9



# ひだまりの *Wa!!*



## 趣味のトランペットでバンド活動 森澤 良一さん(支援協会 自転車委員会班長)

高松丸亀町商店街では通行人の安全確保のため自転車に乗ることを禁じられているが、支援協会ではこれを推進するため自転車委員会を組織し、降車や押して利用することを7名のメンバーが交替で呼び掛けている。

担当して今年で8年目。「当初はなかなか理解してもらえず、暴言を吐かれたり無視されたりと辛いことも多かった」と吐露するが、地道な啓蒙活動により今では慣習としてすっかり根付き、「巡回中に私たちの姿を見たらサッと自転車から降りる方も増えるなど、存在自体がひとつの抑止力になっていることが嬉しい」と誇らしげに胸を張る。

商店街振興組合の魅力的なまちづくりで来訪者は高止まり。「通行される方が、安心してお買い物できるよう地道に活動するだけ」と控えめながら、一方では「素晴らしいまちづくりの一つの役目を担っているという誇りと自覚を持って励みたい」と前向き。再び外国人観光客も増加するなか、歩行者の安全担保という面からも存在意義は大きい。

現役時代は高松中央卸売市場で青果卸会社のセリ人として活躍。特に果物のキャリアが長く、NHKが企画する番組の果物紹介のコーナーにも月1回、都合4年間にわたって出演。自らがチョイスした旬の定番から珍しい果実などをスタジオに持ち込み、アナウンサーとの掛け合いで、例えばおいしいスイカの見分け方や、種とぶつからない柿の切り方などをプロの視点でアドバイスする番組といい、氏の軽妙な語り口からして好評だったに違いない。

そんな充実したサラリーマン生活を経て、一区切りついた60歳でバンド「十河軽音楽クラブ」を結成。自らは「中学一年で出会い、虜になった」というトランペットを担当する。「迫力というか、存在感というか、あまりに衝撃的でした。当時、ほかの生徒たちが校歌の歌唱を練習するため、先生の依頼で全校生徒の前で演奏させられた」という得難い経験も、65年にわたって奏者を続ける淵源となっているのではなかろうか。

2人だったバンドメンバーは、アルトサキソフォンやテナーサキソフォン、エアロフォン、ピアノ、ボーカルなどを加えいつしか8人に。定期コンサートのほか、地域のまつりなどの交流イベント、また福祉施設等の慰問などで発表の場を広げ、演歌やポップスを中心に、多くの聴衆の心に響くステージづくりに腐心している。(1頁に関連記事)

趣味は旅行。特に東北、北海道の魅力に惚れ込んでおり、敢えて飛行機は避け、できるだけ鉄道でその土地の駅弁とビールを堪能しながらの旅が「ささやかな自分へのご褒美」とニッコリ。高松市在住。当年にとって77歳。

### 警備していただける人(未経験者大歓迎)を募集!

**急募**

未経験者でも大丈夫です 丁寧にご指導いたします。  
皆さん! すぐに、活躍できますよ 初任者研修後

\*組合員の皆さまも、ぜひともお近くのお知り合いの方をご紹介下さい

制服貸与 勤務地、勤務日は、相談可 兼業もOK!

いつでも、お気軽にご連絡ください。

警備事業責任者川西☎080-2851-4338 又は、本部☎087-899-6311 まで



甦れ青春! 「理事長杯を手にするのは君だ!!」

## 理事長杯争奪 高齢協 ボウリング大会のご案内



香川県高齢協組合員の健康増進と親睦を目的に、下記の要領でボウリング大会を実施することとなり、参加者を募集しています。

組合員であれば誰でも参加可能であり、多数のご参加をお待ちしています。

なお参加希望者が多数の場合は、先着順となりますのでご注意ください。

### 記

日 時 10月14日(火) 13時30分開始【15分前にはお集まり下さい】

会 場 マルナカパワーシティ屋島店 3階 MGボウル

参 加 費 1,000円(ゲーム代含む)

競技方法 3ゲームアメリカン方式で実施

⇒男性はハンディ無、女性は1ゲーム20ピン 合計60ピン提供

表 彰 賞品は上位だけでなく、飛び賞などたくさん用意しています!!

**～申込期限は 10月11日(土)で締め切りと致します～**

お申し込みは ☎087-899-6311(高齢協本部)または ☎090-4501-3423(木村/LINE 可)、  
☎090-7149-8520(寺田/ショートメール可)まで。フルネームと携帯番号をお伝え下さい。



## ボウリング大会の出場者募集

来る10月14日(火)13時30分より恒例の「理事長杯争奪 高齢協ボウリング大会」が開催されることとなり、多くの組合員の参加を呼び掛けています。

会場はM G ボウル(マルナカパワースティ屋島店3階)。参加費は千円。3ゲームアメリカン方式で実施され、男性はハンディなし、女性は1ゲーム20ピンの計60ピンが提供されます。



香川県高齢協組合員の健康増進と親睦を目的に毎年開催されており、ボウリング同好会が運営をサポート。上位だけでなく、飛び賞などたくさんの賞品を用意しているといえます。

準備の都合上10月11日(土)が申込期限となっておりますが、参加希望者が多数の場合は先着順となります。

問い合わせは ☎ 〇八七・八九九・六三一(本部)、〇九〇・四五〇・一三四二(三木村)、〇九〇・七一四・九一八五二〇(寺田)まで。※写真は昨年の大会です。

## 理事会報告



## 2025年 第2回理事会

8月26(火)開催

本部会議室 14名出席

### 《審議事項》

● ボランティア活動参加時の交通費支給についての課題に対し協議し、その意義等について話し合われた。

### 《報告事項》

● 有料老人ホームの監査で指摘され

た事項について、改善報告書を高松市に提出しており改善したことが報告された

● 「ひだまり川島」のコロナ感染について終息した旨が報告された

● 生きがい事業部よりエルダーキャッツの現況報告、グルメと散策を楽しむ会の高松まつり「海上観覧ツアー」参加者の感想及び各同好会の活動報告がされた。

● 6月度(単月・累計)損益状況についての確認を行った



通所・泊まり・訪問 すべて使える♪  
**利用者様・介護職員 募集!**  
小規模多機能型居宅介護  
**ひだまり川島**

〒761-0443

高松市川島東町925-1

TEL 087-848-2877

明るいまんがが待っています! 見学も大歓迎!





## 「さぬき高松まつり」

### 花火大会の海上観覧ツアー

に参加しました！

### グルメと散策を楽しむ会

今年も、県都の真夏の祭典「第58回さぬき高松まつり」が8月12日から3日間開かれました。



花火大会は、13日夜にサンポート周辺で実施され、それに合わせて「グ

ルメと散策を楽しむ会」が海上観覧ツアーを計画したところ、西讃地域および高松地区から50名余りもの大勢の組合員の家族ぐるみでの参加申込みがありました。

今年の花火大会は、30分間で6千発を打ち上げるなど昨年よりスケールアップし、高松の夏の夜空を華やかに彩りました。



花火は7部構成でオープニングの雷鳴花火から始まり、うどんに見立てた花火の乱れ咲きで「楽しむ会」の面々を出迎えてくれました。

そして次々と星やハートなど、さまざまな形の花火が夜空に浮かぶたびに大きな歓声が上がリボルテージも最高潮に！

「ひゅー・どーん・ぱちぱち」と大きな音とともに高松港の夜空に大輪の花火が打ち上がると観覧ツアー

参加のみなさんから「うわーすごい、綺麗やわー」と興奮した声が飛び交っていました。

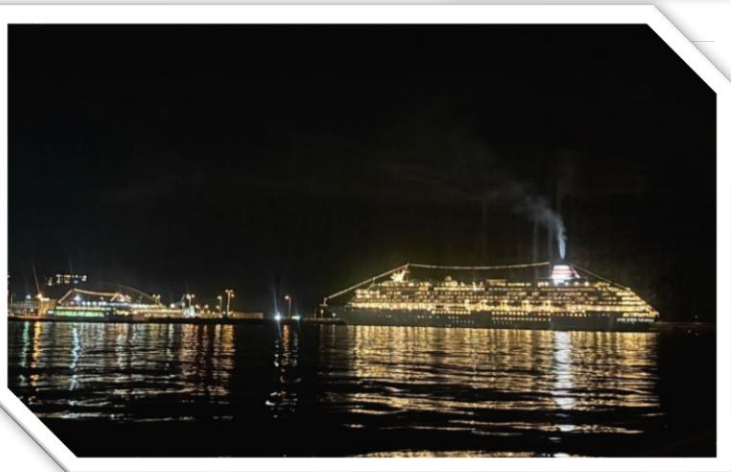


「音楽花火」もあり、エンディングは「グランド・シンフォニー」をテーマにした演出で、一段と大きく「どっかん」と黄金の閃光とごう音が高松の夜空を包み込みました。

今回の花火大会には、大型クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」（5万トン241m）が寄港しており、その豪華絢爛な船体が華を添えるような演出でした。



参加者のみなさんは海上からの花火観戦が初めてという人が多く、ごう音と共に炸裂する大玉花火の迫力に驚嘆したツアーとなりました。



二宮さん(当会世話人代表)談

「今回も大勢の方に、ご参加いただき誠にありがとうございます。私自身も間近で観るその迫力と音に圧倒される中で、夢中で写真を撮りました。みなさんに喜んでいただけてよかったです。」

花火大会添乗記 伊賀昌吾



## 地域活動



## 「川東花火2025」

さる7月26日(土)、高松市立川東小学校運動場で「川東花火2025」が開催され、香川高齢協は「ひだまり村」として約10名のボランティアが金魚すくいのブースを出店しました。

かつては「昔なつかし川東夏まつり」として地元民に親しまれたお祭りでも、高齢協は毎年、焼きそばづくりと販売を担当してきました。昨年の中止を経て、今年は少しスリム化しての再開となりましたが、会場では子供たちを中心に、多くの笑顔で溢れました。

この日用意したのはフナ金など約300匹とメダカ。高齢協スタッフのサポートを受けながら、子供たちは慎重かつ大胆に金魚すくいを楽しみました。ダンスなど以前のようなステージイベントがなかったことは残念だったものの、フィナーレの迫力ある花火は来場者の目を楽しませ、楽しい夏の思い出に彩りを添えました。ボランティアの皆さん、暑いなかお疲れ様でした！





## 地域活動



### 「第21回さぬき満月まつり」

前頁の川東花火2025と時を同じくして、屋島では「第21回さぬき満月まつり」が盛大に開催されました。



「さぬき満月会」が同好会に所属する香川高齢協は、まつりの協力団体として毎年全面的にサポート。今年も酷暑のなか延べ20名近くが参加し、椅子の設置や子供たちが制作した「世界で一枚のTシャツ」の展示支援、また受付けでのパンフレット配布や、焼きそばの販売を手伝う姿がありました。



舞台は子供たちのキッズダンスや太鼓などで盛り上がったほか、我らさぬき満月会は伝家の宝刀『さぬき満月踊り』を堂々と披露。



このほか『正調一合まいた』には大西高松市長も飛び入りで参加し、しばし暑さを忘れて夏の夜のひとときを楽しみました。

青梅理事長(ひだまり福祉会)が発案して継続開催してきたさぬき満月まつり。昨年の20回目を境に、運営は若手の西岡光さんにバドンタッチしましたが、理事長のこれまでの熱い思いと、一線を退いた後もバックアップを続けてきたことが奏功し、今年も多くの人たちが屋島に駆け付けました。



ボランティアを陣頭指揮した伊賀副理事長も「例年より3割ほど人出が増えたイメージ」と話しており、焼きそばが早々に完売したことや、終演時まで客席が満席だったことなどを手応えとして挙げていました。



今年は地元の川東花火2025と同日開催となったためスタッフは双方に分散してしまいました。が、どちらの会場でも、香川県高齢協の地域に対する思いがお祭りを少なからず盛り上げたことを確認できた一日でした。有志の皆さんのご協力、ありがとうございました。



## 仲間を募集しています。

◎ 草刈り、植木の剪定、剪定のお手伝い、引越し手伝い、廃材処理

◎ 登録して頂くと、あなたの時間、

できることを誰かのためのサポート側として活躍してみませんか。

◎ 年金プラスαの収入を得る働き方をめざします。

◎ 仕事の依頼もご相談下さい。

仕事おこし事業部

☎080-2990-4586 (森岡)



## あなたを守り隊手帳

### 丸亀町クリニック通信 ③

#### 「穴場」

ある休日、しばらく海を見ていなかったの久しぶりに庵治方面に車を走らせました。庵治の町中に入ったあたりで「あじ竜王山公園」という看板を見つけました。

そういえばちよつと前の新聞で公園の紹介がされていたのを思い出し、行ってみることにしました。高松にはここ20年くらいは住んでいますが、「あじ竜王山公園」は聞いたことがありませんでした。「最近整備された公園なのかなあ…」と思いながら割と狭い山道を登っていくと突然視界が開けました。



駐車場に車を停めて北側を見ると瀬戸内海の多島美が広がっています。



直島、女木島、男木島、豊島、小豆島、小豆島…眼下には大島、そして遠くにはうっすらと瀬戸大橋も見えます。これだけでも素晴らしい眺めです。でもまだ駐車場、公園には入っていません。

少し、丘を登るように公園を歩いていくと綺麗に整備された芝生広場にご当地名物「庵治石」で作られたたくさんのおブジェが迎えてくれました。



更に歩いて行くと金属でできたユニークな橋がありました。WatchTower（見晴塔）と書いてあります。何気なく登ってあたりを見回すと思わず息を飲みました。360度の絶景とまではいきませんが、南側以外はぐるりと見渡せます。



さっきの駐車場からの景色に加えて眼下には志度湾と志度の街並み、大串半島、遠くには淡路島も見えます。北側にははるか彼方に岡山の街と山々が…  
唯一開けていない南側には荘厳な五剣山の姿が…



庵治竜王山公園…近場なのに素晴らしい！

是非一度行ってみて下さい。  
よい休日でした。

丸亀町クリニック 宮川 芳幸



# エッセイ



## 病氣見舞い

病氣見舞いに行くべきかどうか、友人や知人が入院すると私はいつも迷う。萎(しお)れた花のように元気をなくした姿など見たくないからだ。というより、相手もそんな惨めな姿は誰にも見られたくないのではないだろうか。

学生時代のこと、私は部活の激しい運動でいつも手足を傷だらけにしていたが、あるとき傷口からばい菌が入って急性腎炎を起こし、入院生活を送る羽目になった。突然訪れた予期せぬ出来事に、失望と焦りが交錯し、どうにもならない暗い気持ちに打ちひしがれた。そんなある日、級友二人が突然見舞いに来た。明日が見えないどん底の日々を送っていた私にとっては、元気な彼らの見舞いは迷惑そのものでしかなかった。

その少し前の頃だったろうか、幼い

頃から病弱だった兄から、「母さんはいつも元気でいいなあ」と羨まし気に言われた母は、その時ほどつらい思いをしたことは無かったと、後に私に告げたことがあった。その兄が亡くなったとき、「やっと楽になったね。今度は元氣になって生まれて来るんだよ」、背中を丸め、いつまでも兄の手を握って泣いていた母の姿が目には焼き付いている。代わってやりたいという親の思いも、これだけは叶わなかった。

そしてその母を次に泣かせたのが腎臓病で入院した私だったのだ。ある日病院の看護婦さんの目に触れぬよう、私の好物の巻き寿司を持って来てくれたことがあった。その頃は腎炎に効く薬などなく、病院の治療は塩分を控えた食事と安静を保つだけで、食事といえば毎日、酸味だけの味気ないものばかりで、食べられたものではなかった。今でも同じようなおかずが今いるホームで出されると全く箸が向かない。尿が出ないから身体は日ごとに浮腫(むく)んでいき、それが怖くて私は水分と塩分は口にしないことにしていた。そんな時の巻き寿司の差し入れだったも

のだから恨みごとばかりを言ったが、母は私の目をじっと見つめて涙を流した。最後は母の情に負けて口にするのだが、そのときの巻き寿司の美味しさは、今も忘れられない。

入院して一年ほどが過ぎた頃、一向に回復の兆しがない私の病状に、業を煮やした父が、担当医と大喧嘩をしたため、私は強制退院させられてしまった。だが、家で養生するわけにもいかず、隣の小さな病院に再び入院した。ところが幸運なことにこの病院が私に奇跡をもたらしてくれたのである。

人生というものの、どこで、どんな転機が巡ってくるかわからないものだ。私の場合、まだ若さもあつたからだろうが、タイミング良くその時に開発された新薬(ブレドニン)によって命が救われた。ひと晩でバケツ一杯の尿が出る、浮腫(むく)んでいた大きな身体は棒のように細くなり、目を追うごとに体力がどんどん蘇(よみがえ)ってきた。さて、今では父や母より長生きしている私だが、病氣見舞い、したりされたりする日がないよう願うばかりである。

## 村祭り

一 村の鎮守(ちんじゅ)の 神さまの  
今日(けふ)はめでたい おまつり日

ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
朝(あさ)から聞こえる 笛太鼓

二 年も豊年 万作で

村は総出の 大まつり  
ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
夜(よ)までにぎわう 宮の森

三 実りの秋に 神さまの  
恵(めぐみ)みたてる 村まつり  
ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
ドンドン ヒヤララ ドンヒヤララ  
聞いても心が 勇(ゆう)み立つ

文と切り絵 萩原幹生



# 2025 年 9～10 月 行事案内

## ひだまり倶楽部「秋の法要」

■日 時 9 月 23 日(火)秋分の日 10 時～ ■場 所 圓通寺(高松市西ハゼ町)

■内 容 9 時 30 分より周辺の草抜き・清掃 10 時～野田住職による法要

お問い合わせは、高齢協本部 ☎087-899-6311 まで。

### ご一緒に楽しみませんか？

#### ▲高松教室（高齢協本部）

▲ひだまり麻雀会 ☎津田 090-2895-3347

・毎週土曜日と月 1 回は水曜日



▲高齢協劇団「エルダーキャッツ」(13 時 30 分～16 時 30 分)

・毎週日曜日 木太コミュニティセンター

☎小西 090-1003-8568

▲讃木会 ☎三宅 090-7141-7297

▲ボウリング同好会 ☎木村 090-4501-3423

▲ダンスを楽しむ会

・毎週金曜日(13 時～15 時) 木太コミュニティセンター

☎木村 090-4501-3423

▲麻雀を楽しむ会 ☎河井 090-2787-9963

・毎週月・木曜日(11 時 30 分～15 時)

▲詰田川自然農園 ☎新名 090-1001-1571

▲グルメと散策を楽しむ会 ☎二宮 090-4974-8457

▲さぬき満月会 ☎岡野 090-5273-1931

#### ▲西讃地域センター

♣琴平・ダンス十八番(13 時～17 時)毎月第 2 第 4 日曜日

ダンスパーティー(9/28、10/12・26、11/9・23、12/14・28)

☎日野 090-3188-1672

♣歌声「さつき」(13 時 30 分～15 時 30 分)

・月 2 回(10/9・23、11/6・27、12/25)12/11 は懇親会

宇多津町保健センター(町役場隣)4 階

☎奥山 090-2825-8849

■ご意見・お問い合わせは各部会の代表または高齢協本部まで 高齢協本部 ☎087-899-6311



▼酷暑だった今夏を象徴する事象のひとつに、甲子園を舞台とした夏の高校野球のナイター開催が挙げられるのではないのでしょうか。賛否両論あると思いますが、長い歴史を有する同大会で、選手や観客の熱中症予防という観点から新しい試みを取り入れたことは、私個人としては大いに評価に値すると思います。文化や慣習を継承することも大切ですが、一方で時代背景に即して柔軟に対応できる決断力も同じくらい大切なように思います。

▼ある大物ロック歌手が尊敬する先輩シンガーの訃報に触れ、「あなたが生きていたということに比べたら、あなたが死んだことなどちっぽけなこと」とコメントしたという記事を見ました。少々荒っぽい言い方ではありますが、含蓄ある言葉であり腑に落ちてグッときます。生まれた瞬間から死に向かう私たち生物はとかく死を負のゴールに捉えがちですが、死は単に生の延長線上に過ぎないと考えれば、自分や周囲との向き合い方、物事との対峙、自らの立ち位置など新たな価値観が見えてきそうな気がします。

▼1 頁と 4 頁で掲載した支援協会の森澤さんは、飾らない素朴な人柄で音楽を心から愛する好々爺です。中学からトランペットを吹き続け、バンドのリーダーとして施設慰問や定期的な演奏会を企画。趣味と仕事を両立する姿はまさに理想像であり、趣味や生きがいを持つことの大切さを語らずとも伝えてくれているようです。香川ひだまりでの演奏会では、楽器クイズや CM ソング当ても行なうなど、音楽家としての素養だけでなく、エンターテイナーの一面も披露してくれました。(SH)